



りんごにうれしい
組み合わせ。

ブローダ[®] 水和剤

園芸用殺菌剤

りんごのために生まれた殺菌剤です。

ブローダは、「ミクロブタニル」と「マンゼブ」を配合した殺菌剤です。

りんご病害のローテーション防除の要として、

実績ある2成分の組み合わせが、多彩な効果をもたらします。

特徴のある2成分で、より安定した効果が期待できます。

◎花後の主要病害をしっかり防除

ミクロブタニルの優れた効果と、マンゼブの幅広い病害への効果が合わさり、主要病害をしっかり同時防除できます。

◎予防と治療で二重の守り

ミクロブタニルは茎葉に浸透移行し、治療効果で感染初期に植物体内に侵入してきた病原菌の菌糸の伸長を阻害します。マンゼブは、植物表面を保護し、病原菌の感染を予防します。

◎雨にも強く、効果が持続

優れた製剤技術によりマンゼブ成分が植物表面に多く付着し、安定した効果、優れた耐雨性、残効性を発揮します。

◎耐性菌防止対策にも有効

マンゼブ剤は、各種病原菌において耐性菌発達事例が報告されていません。また、作用性の異なる両成分を混合することにより、耐性菌防止対策においても有効と考えられています。

●黒星病試験成績

青森県りんご試験場(1986年)

薬剤名	希釈倍率	発病葉率(%)	サビ果率(%)
ブローダ水和剤	500	0.2	3.0
A水和剤	800	13.6	7.0
無散布	—	32.6	3.0

品種：ふじ10年生 散布：5/8、21、29、6/9(4回) 調査：6/24(効果)、9/20(サビ果)

●斑点落葉病試験成績

長野県果樹試験場(1985年)

薬剤名	希釈倍率	発病葉率(%)	病斑数(10葉当り)
ブローダ水和剤	500	26.3	4.0
B水和剤	500	49.5	10.1
無散布	—	72.0	25.8

品種：スターキング10年生 散布：5/18、29、6/15、25(4回) 調査：6/29

●適用病害と使用方法

※：収穫物の残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
りんご	モニリア病	500	200～700ℓ/10a	収穫30日前まで	本剤 3回以内 マンゼブ 3回以内 ミクロブタニル 3回以内	散布
	黒点病 赤星病 うどんこ病 斑点落葉病 黒星病	500～800				

◎この他に、かき、ねぎにも登録があります。

⚠ 使用上の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液、チオジカルブ剤との混用はさけてください。
- ボルドー液との連用は薬害を生ずるおそれがあるので、7日以上散布期間をおいてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないようにし、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。散布器具の洗浄水等は、河川に流さないでください。また、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は、眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業着などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空袋は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2021年2月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)